



## 感極まる

学園長 寺澤 隆志

現在、パリパラリンピックが行われています。オリンピックを含めると約1か月間のスポーツイベントです。スポーツの祭典に相応しく、様々な場面で感動的なシーンが生まれています。

柔道では阿部一二三、詩の兄妹が大会前から注目されていました。私も、「2人とも優勝は難しいかもしれないけど、メダルは取れるのでは」なんて思っていました。しかし、実際は兄の一二三さんは優勝し、金メダルを獲得しましたが、初めに登場した妹の詩さんが2回戦で負けてしまいます。詩さんが負けてしまったから、一二三さんが優勝するまで2人から色々な涙が流れました。今回は①詩さんが負けてしまった場面、②一二三さんが優勝した直後の場面、③一二三さんが優勝のインタビューを受ける場面で詩さんと一二三さんの涙を「喜怒哀楽」で考えてみたいと思います。

涙が流れるとき、人は「感極まった」という言葉を使います。感情が極限まで達するという解釈になるのでしょうか。喜怒哀楽は人間の主だった気持ちを表した四字熟語です。

喜…自分や他人があることを達成してうれしいと感じる気持ち

怒…不満・不快なことがあって、がまんできないと感じる気持ち

哀…辛く、切なくて胸が詰まる、相手がかわいそうだと感じる気持ち

楽…心身に苦痛がなく、満足して愉快であると感じる気持ち



①の場面では詩さんは号泣します。ここでは負けてしまった切なさ、自分自身に対する不甲斐なさで哀と怒の気持ちで感極まってしまったのかなと感じました。

②の場面では応援席でお兄さんを応援する詩さんの目から涙が溢れます。ここでは「良かった」という表情からも伺えられるように喜の気持ちで感極まったのだと感じました。

③の場面ではインタビューアーが詩さんの事を話題にした途端に気丈に受け答えをしていた一二三さんの声が震えだします。ここではそれまでの様々なプレッシャーから解放された、詩さんにも勝たせてあげたかったなどが複雑に絡み合った喜怒哀楽の気持ちで感極まったのでは感じました。

知らず知らずのうちに私の目からもポタポタと涙がこぼれていました。最近、妙に涙もろくなっていました。特に一生懸命に頑張る若者や子供たちの姿に弱いです。若者や子供たちの損得や駆け引きのない純粋な姿や、結果を残すまでの積み上げてきたであろう努力や苦労を今までの経験から想像できるからかなと思います。

2学期が始まりました。2学期は学習活動、部活動、行事など、これまでの成果を表す場面が多くあります。子供たちの頑張る姿に「感極まりたい」と思います。

8月9日（金）わたしの主張 十日町・中魚沼大会 優秀賞

新潟県わたしの主張十日町・中魚沼大会が、段十ろうを会場に開催されました。本学園からは、校内発表会で代表に選出された8年生のS・Aさんが参加しました。

題名は「レジリエンス」。足の怪我など、自身の体験を基に、レジリエンス＝折れない心を持ち、自分を大切に生活していきたいと発表しました。

大会に向け発表練習を重ねて本番に臨みました。各学校の代表者は3年生が多く、しかもトップバッターという緊張の中でしたが、練習した成果が表れた大変立派な発表態度でした。結果、最優秀賞に次ぐ優秀賞をいただきました。



「レジリエンス」

まつのやま学園 S・A

レジリエンスとは、「心の回復力」のことをいいます。嫌なことやつらいことがあったときに、すぐに心が折れて、落ち込んだり、ずっと引きずったりしてしまう人は「レジリエンスが低い」といえます。逆に、つらいことや苦しいことがあっても、乗り越えてもう一度頑張ることができる人は「レジリエンスが高い」といえます。

東京から松之山に引越してきてすぐの頃、僕は山の斜面に生えている根本が大きく曲がった杉の木を初めて見ました。最初は変な形だなど思いましたが、あとからそれは、杉の木が雪の重みに耐えながら、それでも負けずに上に向かって伸びる、豪雪地帯特有の「根曲がり杉」だと教えてもらいました。

今年の冬、僕はスキー場で接触事故に遭い、右ひざの剥離骨折、半月板の損傷、その他二か所の手術が必要な、全治八か月の大けがをしました。歩くことも走ることも、入院で学校に行くこともできなくなって、体が不自由になって生まれて初めて考えることがたくさんありました。手術が決まった日、学校に行けないことを悲しんでいる僕に、主治医の先生が「東京と十日町、どっちが楽しい？」と聞いてくれて、僕は「十日町です。」と答えました。すると先生は「それなら、またスキーができるように治してあげないとな。」と言って、僕の不安な気持ちを笑い飛ばしてくれました。先生のその一言のおかげで、僕は手術がこわいという気持ちや、八か月も足が不自由になるということの心配や不安よりも、「治ったらまた今までみたいにスキーができるんだ！」という、その先の未来を想像することができました。

どんな逆境や困難なことがあったとしても、そこで心が折れてしまったら、もうどうでもいいやと思ったり、なんで自分ばかりという気持ちになったりして、前に進むことが難しくなってしまうかもしれません。最初に根曲がり杉の話をしたのは、太陽に向かって上へ上へと成長していく根曲がり杉のように、ネガティブな気持ちに押しつぶされずに、未来に向かって前へ前へと一歩ずつ進んでいくことが、僕は大事だと思うからです。

退院して学校に行けるようになってからも車いすと松葉杖の生活が続き、週に一度はリハビリのため病院に通いました。病院には、医者や看護師さんという仕事だけではなく、レントゲンやMRIを撮る技師さん、リハビリを専門に患者さんのサポートをする理学療法士さんなど、さまざまな仕事の人がいるのだということ、僕は初めて知りました。自分がリハビリをしていく中で気付いたことがたくさんあります。いろいろな人がいるからこそ、この世の中が成り立っていること。いろいろな人に支えられて生きていること。そして、どんな人にもつらいことはあるけれど、みんなそれに負けずにがんばっていること。

僕にとってのリハビリや手術のように、つらいことや不安なことを乗り越えていくのは、他の誰でもない自分自身です。でも、人生において何もうまくいかないときは必ずあります。うまくいかない、「なんで自分ばかり。」「あいつはいいよな。」と、マイナスなことを言ってしまうがちです。でも、夢を叶える人や実現させる人は、マイナスな言葉を言うよりも、もう1度前を向いて努力を続けていくのだと思います。

落ち込んだり、イライラしたりすることは決して悪いことではないけれど、そのような苦しい状況を成長のチャンスに変える「折れない心」がレジリエンスです。僕はそんなレジリエンスを高めて、どんなにボロボロで、何もうまくいかないときでも、根曲がり杉のように折れずに前を向ける人になりたいです。そして、がんばっている自分自身のことを大切にしながら生活していきたいと思います。

## 8月5日（月）～7日（水）平和教育広島市派遣事業

8月5～7日、平和教育広島市派遣事業に学園から代表として9年生のN・Aさん、8年生T・Mさんが参加しました。

8月5日は中学部で折った千羽鶴を原爆ドームに奉納し、6日には広島平和記念式典への参加、広島平和記念公園や資料館の見学、広島原爆養護ホーム、広島赤十字原爆病院の慰問を行いました。原爆で焼け焦げたお弁当や黒い雨と血で染まった特攻服などの資料や被爆された方のお話から、戦争の恐ろしさや悲惨さを学びました。

始業式の報告会でN・Aさんは「願うだけでは平和は訪れない」という言葉から、戦争や原爆の恐ろしさを自分の力で世界に発信することの大切さや、生きていることや人への感謝の気持ちを忘れずに過ごしたいと発表していました。



## 部活動紹介 <文化部> 大地の芸術祭作品鑑賞に出かけました。

8月6日（火）文化部は大地の芸術祭の作品鑑賞のため、奴奈川キャンパス、キョロロ、最後の教室を訪れました。奴奈川キャンパスでは、木の玉の「木湯」で遊んだり、「光」「影」「音」の織り成す作品や「新聞紙・ガムテープ」でできている現代作品を体験しました。暑い日でしたが、学校ではできない刺激的な芸術体験となりました。

文化部は自分たちで活動を考え、1学期は調理実習やペーパークラフトなど楽しみました。2学期も様々な文化活動、芸術活動を計画し、チャレンジしていきます。

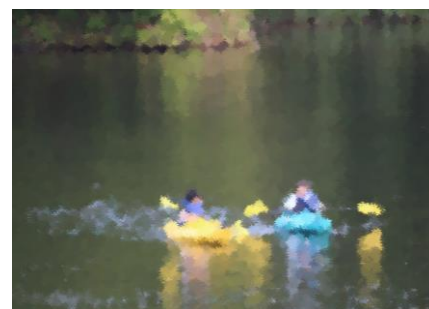


## 部活動紹介 <アウトドア部> キャンプを行いました。

8月23日（金）・24日（土）アウトドア部の中学生が大巖寺高原でキャンプを行いました。9年生にとってはこれまで身に付けたアウトドア技術の集大成となる活動です。テントを張った後は、サップや釣りをして野外活動を楽しみました。その後、みんなで火を囲み思い思いの夕食と9年生への感謝のセレモニー。思い出深い夜となりました。

翌朝、爽やかな高原の空気を感じながら朝食をつくり、最後は協力して後片付けをしてキャンプが終わりました。

今後、アウトドア部は8年生が中心となり、新体制で活動します。



## 2学期スタートしました！

8月29日（木）2学期がスタートしました。始業式では、期の代表として3名の発表がありました。

3年生の島田光さんは、夏休みは宿題を頑張り、ハーバリウムやキャンプが楽しかったこと、2学期はリコーダーの練習を頑張りたいと発表しました。

6年生のN・Mさんは、ランニングの大会に向けての練習や学習を頑張ったこと、2学期は「学年×10分」の家庭学習とフェスタに力を入れたいと述べました。

9年生のS・Kさんは、夏休みは駅伝大会に向けて部活動を頑張ったこと、2学期は勉強と学園フェスタではリーダーとして見ている人を楽しませる劇にしたいと抱負を述べました。

続く、学園長の講話では、巻頭言にもある「感極まる」について、オリンピックの柔道の阿部兄弟の場面を例にお話をしました。そして、2学期みんなの姿を見て、感極まることを期待していますと結びました。

始業式の後、5年生の新しいお友達の紹介があり、全校生徒の前で自己紹介をしました。

次に、広島派遣の代表者による報告と、つくし会から全校児童生徒に向け、2学期の生活についての話がありました。2学期もいろいろな活動や生活目標達成に向け一生懸命に取り組みましようとしてリーダーが呼びかけました。

その後、ホップ・ステップ・ジャンプそれぞれの期ごとに集会を行い、各学年の代表者が2学期の抱負を発表しました。学級では一人一人が目標を立てています。学習や行事の中で目標が達成でき、一人一人に力が付くよう支援していきます。



## 9月の行事等の予定

【9月】			
2日（月）	つくし朝会	18日（水）	フリー参観日（2～5限）、中学部土木出張授業（午後）
3日（火）	S J 委員会活動	19日（木）	7～9年英語検定
5日（木）	学校生活アンケート		学校生活アンケート
6日（金）	郡市発明工夫模型・生物展 （～9日：千手コミセン）	20日（金）	親善陸上大会・新人戦壮行式
7日（土）	グラウンド除草	22日（日）	【祝】秋分の日
9日（月）	期集会	23日（月）	振替休日
10日（火）	S J 委員会活動	24日（火）	全校朝会
12日（木）	学校生活アンケート+いじめ0 ステップ期宿泊研修（～13日）		S J 委員会活動
14日（土）	グラウンド除草、こども野鳥の会	25日（水）	郡市小学校親善陸上大会
16日（月）	【祝】敬老の日	26日（木）	中体連新人陸上大会
17日（火）	S J 弁当の日、S J 委員会活動 小：読み聞かせ、中：教育相談 まつのやまいきき週間（～23日）		9年学習の確認テスト
			学校生活アンケート
		30日（月）	つくし朝会、 中学部郡市科学研究発表会

【10月】			
1日(火)	小学部郡市科学研究発表会 S J委員会活動	21日(月)	振替休業日
3日(木)	学校生活アンケート	22日(火)	S J委員会活動
5日(土)	グラウンド除草 湯鳥駅伝・健康マラソン	23日(水)	9年学習の確認テスト
7日(月)	振替休業日	24日(木)	学校生活アンケート 小学部郡市音楽交歓会 中学部家庭学習チャレンジウィーク～30日
8日(火)	S J委員会活動	25日(金)	漢字検定
9日(水)	まちの産業発見塾(8年)	27日(日)	松之山産業祭(中学部:登校日) 小学部:休日
10日(木)	中越地区駅伝大会 学校生活アンケート+いじめ0	28日(月)	中学部:振替休業日 小学部:登校日
11日(金)	美人林清掃(ホップ期)	29日(火)	教育相談週間～11月1日 全校朝会、就学時健康診断
12日(土)	こども野鳥の会	31日(木)	S J委員会活動 学校生活アンケート、 第2回家庭学習チャレンジウィーク～11月13日
14日(月)	【祝】スポーツの日		
15日(火)	小:読み聞かせ、中:教育相談		
17日(木)	学校生活アンケート+いじめ0		
19日(土)	学園フェスタ、グラウンド除草		